

令和８年度 事業計画

当財団は、昭和２５年に「財団法人 呉海員ホーム」としてスタートし７５年の歴史を刻んできた。ビュー・ポートくれは平成８年に一般財団法人呉海員会館と呉市が共同で建設し、２者が所有する区分所有建物で、呉海員会館は船員とその家族や海事関係者に対する福利厚生等を目的に宿泊施設運営事業等を今日に至るまで継続してきた。

当該施設は、築後２９年以上が経過し、老朽化が著しく、これまでも度重なる改修を行い、運営を続けてきたが、今後、更なる大規模改修が必要となる見込みであることから、複合建物としての現状の形態では、安定した経営の継続が困難な状況にある。

このため、今後の維持管理コストや施設の在り方を検討するため、呉市が主体となって令和４年度より民間事業者からの自由な提案を募集する「サウンディング型市場調査」を継続して実施し、様々な提案があった。これらのことを総合的に勘案するとともに、今後の状況を踏まえて当該施設の今後の在り方を検討した結果、当該施設については民間事業者売却した上で、宿泊機能の維持・向上を図る方向性となった。今後は、呉市と連携を図りながら売却スケジュールに沿って進めていく。

そうした中で、当財団の運営としての最後の１年を迎えようとしている。

１ 会館の運営方針について

(1) 宿泊部門

物価上昇などによる費用の増加を考慮しつつ、コスト管理を徹底し、宿泊料金値上げをはじめ、収益の確保に向けて次の項目に取り組み、宿泊客の獲得を目指す。

- リピーターの積極拡大
- ホームページの充実によるネット予約の獲得拡大
- X（旧ツイッター）によるPR
- 観光客、地元企業や海上自衛隊への販売強化
- 市内の競合宿泊施設の動向に対する機敏な対応
- 利用客のニーズの把握と積極対応
- 客層の把握と分析
- OTAの積極活用
- 館内テナント施設との連携強化

(2) 貸会場部門

ホームページ等またはオンライン予約システムよやくーるを活用した新規利用者の獲得とともに、地元企業や継続利用者への呼びかけを積極的に行い、利用者の増加を目指す。

(3) 生活相談事業

引き続き１階ロビーに「船員しんぶん」と船員会報「海員」また、船の仕事紹介「船ジョブ」を設置して、船員の広報活動を支援する。さらに全日本海員組合と連携を図り、船員やその家族からの相談等により船員とコミュニケーションを図る。

(4) 受託事業

呉市から指定管理者として指名を受けている呉市きんろうプラザの管理業務と、ビュー・ポートくれ管理組合から委託を受けている共用部分の維持管理業務については、これまで同様、誠実に業務を遂行していく。

2 職員について

(1) 職員の採用

将来における運営の方向性の観点から当面の間、採用は見送るが、可能な限り適切な人員配置を図る。

(2) 職員の教育

接客サービスの向上のため、外部マナー講座への参加や、日常業務を通じた職員教育を実施する。

(3) 職員の労働条件

職員の賃金改定は、減少する従業員の労働意欲を維持する観点や人員不足から、支払い能力ならびに物価上昇等を考慮しつつ、必要とする賃金改定を行う。賞与の支給については、経営状況を踏まえ判断する。

3 呉市からの借入金について

従来の返済計画に基づいて290万円の減額をする。

4 施設の維持補修等について

施設の老朽化が著しく、優先順位をつけて設備維持、補修を行う。

これまで同様、会館運営に支障をきたさないよう、施設の日々の点検を徹底し、劣化、消耗が進む設備機器については可能な範囲で更新または修繕を行う。

(1) 海員会館設備の改修予定

① 屋上貯湯タンク補修 約50万円

その他、営業中に故障した設備については、運営に支障をきたし緊急を要するものかを判断し、可能な範囲内で修繕を行う。

(2) 複合建物全体の更新・改修

① 3号機エレベーター 約720万円(会館負担分223万円)

5 ビュー・ポートくれの売却について

次のとおり、行政報告を行った。

① 令和7年11月

「ビュー・ポートくれの売却について」

② 令和8年1月

「ビュー・ポートくれ売却等優先交渉者決定にかかる公募型プロポーザルの実施について」